

## 観点別審議内容

\*以下は観点別に想定される審議内容を私（高橋）がまとめたものです。委員の皆様のお考えでこれ以外の審議内容があれば追加をしていただくようお願いいたします。

### 〔小学校〕

#### 【観点1】 統合の形態（小学校6校を2校にして、学校の位置を現小川小学校と西中学校にする）

- 大河小学校・竹沢小学校・みどりが丘小学校を統合して新たな学校をつくるという方法は、小川町の将来と子どもたちの教育を見通して適切か。
- 大河小学校・竹沢小学校・みどりが丘小学校を統合した場合、児童数はどんな状況になるか。（将来的な推移も見据えて）
- 大河小学校・竹沢小学校・みどりが丘小学校を統合して、学校の位置を西中学校とした場合にどんな問題が生じるか。またその解決方法はどうすべきか。
- 東小川小学校を統合した小川小学校と八和田小学校を統合して新たな学校をつくるということは、小川町の将来と子どもたちの教育を見通して適切か。
- 東小川小学校を統合した小川小学校と八和田小学校を統合した場合、児童数はどんな状況になるか。（将来的な推移も見据えて）
- 東小川小学校を統合した小川小学校と八和田小学校を統合して学校の位置を小川小学校とした場合にどんな問題が生じるか。またその解決方法はどうすべきか。
- 3校を統合して新たな小学校を創立した場合、どんな問題が生じるか、またその解決方法はどうすべきか。

#### 【観点2】 通学方法

- 大河小学校・竹沢小学校・みどりが丘小学校を統合して現西中学校を新たな校舎とした場合、竹沢小学校の児童をどのように通学させたらよいか。（その問題点と解決方法を明らかにする。）
- 同様にみどりが丘小学校の児童はどのように通学させたらよいか。（その問題点と解決方法を明らかにする。）
- 東小川小学校を統合した小川小学校と八和田小学校を統合して小川小学校の校舎を利用して新たな学校をつくった場合、八和田小学校の児童はどのように通学させたらよいか。（その問題点と解決方法を明らかにする。）
- 「短期計画」で小川小学校に統合した東小川小学校の児童はスクールバス又は路線バスを活用して通学することになっているが、八和田小学校の児童を含めて新たな学校にした場合、そのままの通学方法でよいか。
- 通学方法の変更により、児童の通学上危険箇所はないか。あるとすればどのような

に改善していく必要があるか。

- 通学方法の視点から、通学区域の変更は必要か。また、変更した場合にどんな問題が生じるか。(小学校を2校にした場合、通学することになる学校よりも他の学校の方が、通学距離が短くなる地域等を想定して)
- 障害等で通学困難な児童への対応はどうすべきか。

### 【観点3】 心のケア

- 少人数の学校から統合により大人数の学校になることへの児童の心にどのような変化が想定されるか。また、その内児童の心に不安、不適應などマイナスのイメージとして働く要素がある場合にどう対処すべきか。
- 通学区域の広がりや通学方法の変化により児童の学校外の生活にどんな変化が生じるか、また、その内児童の心に不安、不適應などマイナスのイメージとして働く要素がある場合にどう対処すべきか。  
・学校と家庭の連絡体制・放課後の過ごし方・通学班の編成・子ども会組織など児童の学校外の生活を想定して)

### 【観点4】 統合に関わる学校の施設・設備・予算

- 大河小学校・竹沢小学校・みどりが丘小学校を統合して現西中学校を新たな校舎とした場合、施設・設備の面でどのような改修が必要か。また、その経費はどのくらい必要か。(児童の学校生活が安全で支障なくできるという視点で)
- 上記の学校改修にどのくらいの期間が必要か。また、通常の学校生活を維持しながら改修工事を進めていくにはどうする必要があるか。
- 東小川小学校を統合した小川小学校と八和田小学校を統合して小川小学校の校舎を利用して新たな学校をつくった場合、どのような改修工事が必要か。また、その経費はどのくらい必要か。(児童の学校生活が安全で支障なくできるという視点で)
- 上記の学校改修にどのくらいの期間が必要か。また、通常の学校生活を維持しながら改修工事を進めていくにはどうする必要があるか。
- 新設小学校2校を創立した場合、教材・教具をどのように整備していく必要があるか。またその経費はどのくらい必要か。
- 新設小学校2校を創立した場合、校名、校章、校歌等をどのように整備すべきか。またその経費はどのくらい必要か。
- スクールバスや路線バスを活用する場合に、児童の通学に関する費用としてどのくらいの費用がかかるか。またその費用は誰が負担すべきか。
- 通学路の危険箇所等の整備が必要な場合、どのようにすべきか。  
(スクールや路線バス等の利用も想定して)

**【観点5】 地域・保護者（学校と地域・保護者とのつながりに関して）**

- 大河地区・竹沢地区・みどりが丘地区という三つの行政区で一つの小学校となった場合に学校と地域とのかかわりの中でどんな変化が生じるか。また、その内、学校、地域、保護者にとってマイナスに働く要素がある場合にどう対処すべきか。
- 大河地区・竹沢地区・みどりが丘地区という三つの行政区にそれぞれあった学校がなくなるということで、地域、保護者にどんな変化が生じるか。また、その内、地域、保護者にとってマイナスに働く要素がある場合にどう対処すべきか。
  
- 小川地区・東小川地区・八和田地区という三つの行政区で一つの小学校となった場合に学校と地域とのかかわりの中でどんな変化が生じるか。また、その内、学校、地域、保護者にとってマイナスに働く要素がある場合にどう対処すべきか。
- 小川地区・東小川地区・八和田地区という三つの行政区にそれぞれあった学校がなくなるということで、地域、保護者にどんな変化が生じるか。また、その内、地域、保護者にとってマイナスに働く要素がある場合にどう対処すべきか。

**【観点6】 再編計画の期間（10年をめぐりに再編するという点について）**

- 「10年をめぐり」をどのように捉えたらよいか。また、それを早めること、遅らせることは必要か。（別紙：「再編計画の時間的スケジュール（10年をめぐり）」を参照）
- 東小川小学校を統合した小川小学校と八和田小学校を統合して小川小学校の校舎を利用して新たな学校をつくった場合、新しい学校としての改修工事が必要となるがどのように進めていくべきか。（スケジュールの面で）
- 大河小学校・竹沢小学校・みどりが丘小学校を統合して現西中学校を新たな校舎とした場合、西中学校を小学生が使用できるように改修する工事が必要となるがどのように進めていくべきか。（スケジュールの面で）
- 中学校を小学校へ転用するための工事が設計から工事までおよそ3年を要すると想定すると、中学校の統合を早める必要が生じるがどのようにしたらよいか。（スケジュールの面で）＊〔中学校〕に再掲

**【観点7】 総合的な視点**

- 小学校の統合を、教育的側面、通学方法の変更やそれに要する費用の面、学校と地域との関わり等の側面等を総合して諮問にある案のとおり推進すべきか。
- 小学校を統合した場合、避難施設や社会体育施設としての機能を果たす場所が地域から失われる可能性があることについて、どうしていくべきか。

## 〔中学校〕

### 【観点1】 統合の形態（中学校3校を1校にして、学校の位置を現檮台中学校にする）

- 東中学校・西中学校・檮台中学校を統合して新たな学校をつくるという方法は、小川町の将来と子どもたちの教育を見通して適切か。
- 東中学校・西中学校・檮台中学校を統合した場合、生徒数はどんな状況になるか。（将来的な推移も見据えて）
- 東中学校・西中学校・檮台中学校を統合して、学校の位置を檮台中学校とした場合にどんな問題が生じるか。またその解決方法はどうすべきか。

### 【観点2】 通学方法

- 東中学校・西中学校・檮台中学校を統合して、学校の位置を檮台中学校とした場合、西中学校の生徒をどのように通学させたらよいか。（その問題点と解決方法を明らかにする。）
- 同様に東中学校の生徒はどのように通学させたらよいか。（その問題点と解決方法を明らかにする。）
- 中学校の生徒を自転車通学させる方法も想定されるが、自転車通学上の危険箇所はないか。あるとすればどのように改善すべきか。
- 障害等で通学困難な生徒への対応はどうすべきか。

### 【観点3】 心のケア

- 少人数の学校から統合により大人数の学校になることへの生徒の心にどのような変化が想定されるか。また、その内児童の心に不安、不適應などマイナスのイメージとして働く要素がある場合にどう対処すべきか。
- 通学区域の広がりや通学方法の変化により生徒の学校外の生活にどんな変化が生じるか、また、その内生徒の心に不安、不適應などマイナスのイメージとして働く要素がある場合にどう対処すべきか。

### 【観点4】 部活動

- 現中学校3校の部活動の状況はどのようになっているか。
- 学校統合後の部活動の状況を想定してどんな問題点があるか。また、その問題点をどのように解決していく必要があるか。

### 【観点5】 統合に関わる学校の施設・設備・予算

- 東中学校・西中学校・檮台中学校を統合して、現檮台中学校を新設校の校舎とした場合、施設・設備の面でどのような改修が必要か。また、その経費はどのくらい必要か。（生徒の学校生活が安全で支障なくできるという視点で）
- 上記の学校改修にどのくらいの期間が必要か。また、通常の学校生活を維持しながら改修工事を進めていくにはどうする必要があるか。

- 新設中学校を創立した場合、教材・教具をどのように整備していく必要があるか。またその経費はどのくらい必要か。
- 新設中学校を創立した場合、校名、校章、校歌等をどのように整備すべきか。またその経費はどのくらい必要か。
- 統合により部活動の種類を増加を想定して、どのような施設設備の拡充が必要か。また、その経費はどのくらい必要か。
- 通学路の危険箇所等の整備が必要な場合、どのようにすべきか。  
(自転車通学、スクールや路線バス等の利用も想定して)

**【観点6】 地域・保護者（学校と地域・保護者とのつながりに関して）**

- 町全体で1校の中学校となった場合に学校と地域とのかかわりの中でどんな変化が生じるか。また、その内、学校、地域、保護者にとってマイナスに働く要素がある場合にどう対処すべきか。

**【観点7】 再編計画の期間（10年をめどに再編するという点について）**

- 中学校を小学校へ転用するための工事が設計から工事までおよそ3年を要すると想定すると、中学校の統合を早める必要が生じるがどのようにしたらよいか。  
(スケジュールの面で)
- 現檮台中学校を新設校とするための改修工事が必要な場合、日常の教育活動を進めながら工事を行う状況が生じるがどのようにすべきか。

**【観点8】 総合的な視点**

- 中学校の統合を、教育的側面、通学方法の変更やそれに要する費用の面、学校と地域との関わり等の側面等を総合して諮問にある案のとおり推進すべきか。
- 中学校を統合した場合、避難施設や社会体育施設としての機能を果たす場所が地域から失われる可能性があることについて、どうしていくべきか。